



プレス民主号外
川崎市・幸区・中原区
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

補正予算「ムダ使い」を徹底追及！

—アニメの殿堂・官公庁用公用車購入・・・ムダ使いばかり—



じょうじま
城島
こうりき
光力
(前衆議院議員)

補正予算は中央省庁バブル！
今回の補正予算では46基金に4,3兆円も交付(積み上げ金)する事業が入っています。これは補正予算額の30%に相当し、潤うのは官僚の天下り先だけです。これこそ百年に一度の大不況ではなく、百年に一度の中央省庁バブルと言われる所以です。そもそも補正予算とは緊急手当てのようなものです。にもかかわらず(アニメの殿堂)と言われる「国立メディアセンター」の設立や「官公庁用の公用車」の新車購入など全く緊急を必要としない政策が目立ちます。しかも「国立メディアセンター」などはわずか6回の会議でいきなり建設が決まるなど政府が慌てて事業を積み上げたのは明らかです。青木文化庁長官は「こういう予算が急につく機会は今後50年、100年は来ないかもしれない」と発言し本音をもらしました。この発言こそ、官僚と一体となった政府・自民党の実態を表しているのだと思います。



事業内容	予算額	まさにムダ使い！
地域産学官共同研究拠点を47都道府県に整備	695億円	すでに類似の施設・組織が34都道府県にある。
官公庁用公用車の新車購入費用	15,000台 588億円	生活が苦しい中で自分たちのことばかり優先しすぎではないか。
国立メディア芸術センターの設立(アニメの殿堂)	175億円	たった半年で建設を決めた。総理のマンガ好きに役人のごますりでは？

今こそ「生活が第一」の政策を実現
今年4月に廃止された生活保護の母子加算に必要な予算は200億円です。左記に示してあるムダ使いをひとつでも無くせば、すぐにでも実現できる政策です。政府・自民党には国民の痛みがわかたないのです。民主党は税金のムダ使いを徹底追及し、今こそ「生活が第一」の政策の実現を主張します。

民主党神奈川県第10区総支部(城島事務所) 前衆議院議員 総支部長

城島 光力

川崎市川崎区宮本町 2-27 TEL223-3195 FAX223-3196 Mail info@jojima.net

HP www://jojima.net